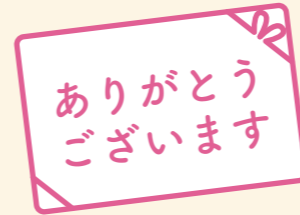




特集

ほっとかないまちづくり
-突然の「まさか」にそなえる防災-

5月31日の菅浜区防災訓練の様子。消火栓の仕組みを学ぶ区民のみなさん。



《令和4年4/1~6/30》

社会福祉事業基金

心よりお悔み申し上げます

- 植村泰治さん(麻生)より、故 光男さんのご香典の一部 100,000円
- 堀田良三さん(宮代)より、故 美智子さんのご香典の一部 100,000円
- 畑中豊さん(竹波)より、故 チヨ子さんのご香典の一部 100,000円
- 金森誠さん(笹田)より、故 久次さんのご香典の一部 100,000円
- 今川春美さん(早瀬)より、故 政夫さんのご香典の一部 100,000円
- 上村志津江さん(麻生)より、故 ナラ子さんのご香典の一部 100,000円
- 彦惣弘明さん(菅浜)より、故 武雄さんのご香典の一部
- 森田定雄さん(野口)より、故 岩太さんのご香典の一部 100,000円
- 伊達久史さん(郷市)より、故 しげ子さんのご香典の一部 100,000円
- 山本則文さん(丹生)より、故 はま子さんのご香典の一部 100,000円

篤志寄付

- 菅浜生活協同組合さんより、6,123円(社会福祉事業へ)

- KGC久々子ゴルフクラブ一同さんより、11,200円(社会福祉事業へ)
- 和田利和さん(金山)より、9,043円(社会福祉事業へ)
- 宮下直さん(佐柿)より、職員の福利厚生へ
- 玉井なおみさん(久々子)より、職員の福利厚生へ
- 野瀬美智恵さん(気山)より、職員の福利厚生へ

使用済み切手

- 美浜町グラウンド・ゴルフ協会さん(郷市)
- (有)若狭プラントサービスさん(河原市)
- 美浜町住民環境課さん
- 岡本和行さん(河原市)
- 大村啓子さん(宮代)
- 子ども・子育てサポートセンターさん
- 嵯峨さん(日向)
- 増井秀子さん(郷市)
- (株)FACEさん(佐柿)
- 美浜町健康福祉課さん
- 嶋田指物店さん(河原市)
- (有)横山電気工事さん(河原市)
- 中谷靖子さん(河原市)
- 愛郷会さん(郷市)
- (有)耕雲商事さん(久々子)
- とく名のみなさん

使用済みテレカ

- 宮下節子さん(日向)

ベルマーク

- 岡本和行さん(河原市)
- 中村久美子さん(松原)
- 嵯峨さん(日向)
- 美浜町グラウンド・ゴルフ協会さん(郷市)

未使用切手

- とく名さん

未使用はがき

- とく名さん

その他
各種サービスにいただきました

- 和多田保さん(佐田)より、絵
- 成田宗雄さん(中寺)より、野菜
- とく名のみなさんより、介護用品、食品、衣料品

生活困難者支援にいただきました

- (一社)みんなの居場所 withふくいさん(若狭町)より、食品
- 立正佼成会若狭教会さんより、食料
- 美浜原子力規制事務所さん(佐田)より、非常食備蓄品

「デイサービスセンターほほえみ」にいただきました

- とく名さんより、日用品、食料品

「でんでんむしの家」にいただきました

- 山本みさ子さん(早瀬)より、花
- 武田幸司朗さん(久々子)より、介護用品
- 八木賢さん(郷市)より、野菜
- とく名のみなさんより、お菓子、衣料品、野菜、コンクリートブロック、花、介護用品、雑貨、寝具、食器、果物

「弥右エ門さん家」にいただきました

- とく名のみなさんより、食品、野菜、雑貨、野菜の苗、魚、衣料品

「吉右エ門さん家」にいただきました

- 兼松芳子さん(佐柿)より、本
- とく名さんより、野菜

※氏名、名称、金額、品名などについて、了解を得た方のみ掲載させていただきます。

編集後記

今回は防災について特集しました。「いつか準備しなければならない」と思いながらも、つい後回しになってしまう、そんな方も多いと思います。自助の準備には、お金や時間がかかるものもあります。しかし、普段から近隣の方と言葉を交わすことは、一番簡単にできる防災への取り組みのひとつだと思います。ぜひ意識してみてくださいね。(塩浜)

発行：社会福祉法人

美浜町社会福祉協議会

(美浜町保健福祉センター「はあとびあ」内)

〒919-1141 美浜町郷市25-20
TEL (0770)32-1164 FAX (0770)32-5915
E-mail shakyo1164@k1.mmnet-ai.ne.jp
http://www.mihamachoshakyo.com

福井県 美浜町社協 検索



美浜町社協
ホームページ

ほっとかないまちづくり

突然の「まさか」にそなえる防災



災 害への備え、みなさんはしっかりとできていますか？台風や豪雨による災害は、近年全国各地で発生しています。また地震が比較的少ないとされてきた北陸地方でも、6月に石川県能登地方で大きな地震が発生しており、福井県でも74年前に大きな地震(福井地震)が発生しています。現在の技術では、精度の高い地震予測を行うことは難しいと話す専門家もおり、だからこそ、日ごろの備えが大切です。



あなたの防災意識をチェック!

- ① 災害時の避難場所を知っている
- ② 避難時の持ち出し品を準備している
- ③ 集落の危険箇所(川の氾濫や土砂崩れなど)を知っている
- ④ 地域の避難訓練に参加している
- ⑤ 集落に自主防災組織・福祉委員会がある
- ⑥ 災害時、家族以外に頼れる人がいる

地域力で地域を守ろう!

町内では、自主防災組織や福祉委員会等が設置されている集落があります。自主防災組織では、災害時の連絡網の整備や集落の防災訓練などを行っています。そして、福祉委員会の日頃の見守り活動は、地域住民の細かなニーズ把握につながり、適切な災害時対応の大きな一助となっています。自分の集落を自分たちで守るという取り組みが進められています。また、町全体として、自ら避難が難しい方に対する、個別の避難支援の計画(個別避難計画)の策定が進められています。

災害時、みなさんは自主的に避難できますか？「自分は大丈夫だろう」…その気持ちで私達の危機感を薄めてしまい、それによって自主的な避難が遅れてしまいます。だからこそ、災害時の周囲への声かけが大切です。「大丈夫？」「避難しましょう」の一言で誰かの命を救えるかもしれません。でも災害時にはじめて声をかけることは難しいと思います。だからこそ、普段から挨拶や何気ない雑談など、ちょっとした声かけからはじめてみましょう。



菅浜区防災訓練の様子

詳しくは
YouTubeで!

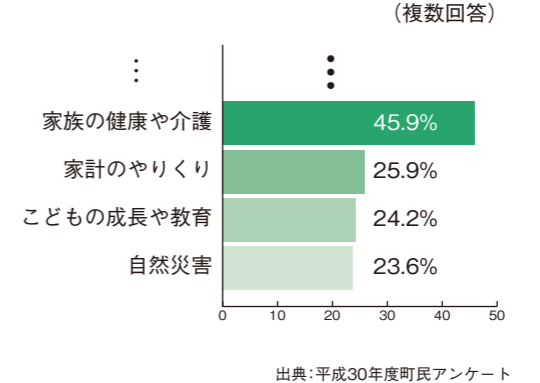


郷市区自主防災組織の取り組み

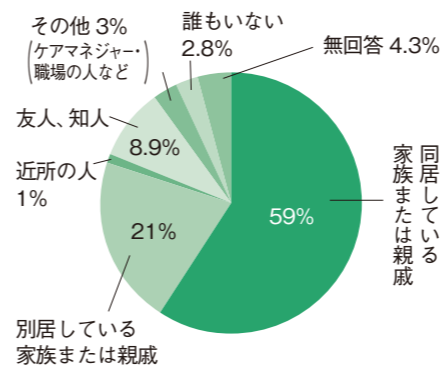


取り組みの紹介
(集落自慢フェスティバルより)

Q. 心配に思うこと、不安に感じること(図1)



Q. 困りごとの相談相手(図2)



自助のためにできること

【美浜町防災ハンドブック】各世帯に配布されており、町内で起こりうる自然災害や避難所の情報がまとめられています。「美浜町防災ハンドブック」で検索するか、QRコードから確認してください。



美浜町防災ハンドブック



【防災アプリ】

町の防災情報や生活にかかわる緊急情報を受信することができます。ぜひダウンロードしておきましょう。「美浜町防災アプリ」で検索するか、コードから確認してください。



美浜町防災アプリ



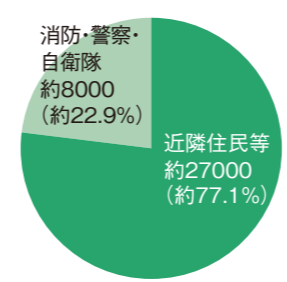
誰もが不安

美浜町社協が実施したアンケートによると、「心配に思うことや不安に感じていること」について、「災害にあうこと」を選んだ方はおよそ24%に上りました(図1)。また、困りごとの相談相手として「近所の人」を選んだ方はわずか1%で、近所づきあいが希薄になっていることもわかります(図2)。

自助・共助・公助

自助、は自分で考え、行動すること。それが難しいときに行政が助ける。公助には限界があります。そこで地域で助け合う。共助、が重要です。阪神・淡路大震災では、救助隊等の公助で助かった割合は約2割であったのに対し、家族や近所の住民等によって助け出された割合は、およそ8割でした(図3)。

阪神・淡路大震災での救助主体(図3)



災害と聞いて、その危機感を我が事として捉える方もいらっしゃるかもしれませんが、他人事だと考えてしまう方もおられるかもしれません。しかし災害は別世界の話ではなく、日常生活からの地続きで突然起きるものです。だからこそ、日々の備えの積み重ねが、そのまま災害時に活きてきます。

社協だよりではこれまで、地域から孤立することで起こる日常生活の様々な課題を予防、解決するためのつながりの大切さを「ほっとかないまちづくり」として特集してきました。そのつながりづくりの第一歩である、普段の何気ない声かけや挨拶が、災害時には誰かの命を守る最後の砦ともなり得るのです。そしてそれは誰かのためだけでなく、自分の身を守ることにもつながります。

もしあなたが住む集落で、防災に関する活動が行われていたら、ぜひ参加してみてはいかがでしょうか。防災の知識だけでなく、きっと新たな出会いや、つながりを得られるきっかけになるはずです。

美浜町社協 事業報告・決算

はじめに

第4次地域福祉活動計画に基づき、『ひとりのしあわせのためにみんなで育む「ほっとかない」まち』を総合目標に掲げ活動を進めてまいりました。

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、感染予防対策を講じながらの事業実施を余儀なくされましたが、安全を最優先しながら事業を実施することができました。

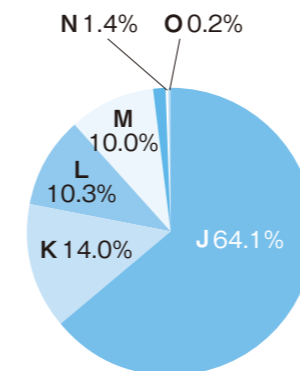
地域共生社会の実現に向けての体制づくりと、世帯全体の複合化・複雑化した課題を包括的に受け止める総合的な相談支援体制を目指し、役員とともに地域生活課題の解決と地域福祉の向上に取り組みました。



基本目標 1 包括的な支援体制づくり

福祉委員や民生委員、集落ごとの福祉委員会活動を支援し、各集落の福祉関係者が見守り活動の継続や情報共有を意識して活動されました。ふれあいサロン、みんなの食堂など、集落内の身近な場所での繋がりづくり、居場所づくり支援を行いました。また、困りごとを相談しやすいよう社協LINEの周知、Facebookの投稿やYouTube社協チャンネルでの新企画配信など、社協を知ってもらう取り組みにも力を入れました。

支出



J	在宅福祉サービス事業	160,780,206
K	地域福祉活動推進事業	35,157,708
L	施設管理運営事業	25,913,923
M	法人運営事業	25,069,185
N	福祉サービス利用支援事業	3,391,137
O	在宅福祉支援事業	500,031
合計		250,812,190

基本目標 2 在宅福祉サービス

あらたな事業として買い物等支援「おでかけワゴン」を10月より開始し、運転・付き添いボランティアの募集や利用の仕組みづくりを行いました。

また、本会の財源の大半を占めている介護保険事業では事業の再編を行い、昨年度をもって閉所した訪問入浴介護事業から通所介護事業へ人員の補強を行いました。人材不足がひときわ深刻な問題となっており、人材の確保・有資格者の育成・離職防止が最重要課題です。

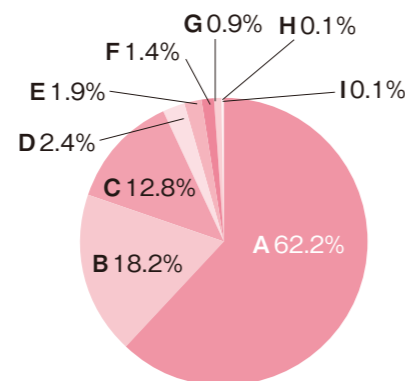


基本目標 3 災害時の支援体制

美浜町と協議を重ね、「災害時における福祉避難所への人材派遣に関する協定」を締結し、災害発生時、福祉避難所での配慮の必要な方に対応するための人材派遣をおこなう体制を整備しました。また、町で取り組んでいる「避難行動要支援者名簿の更新」「緊急医療情報キットの配布」について、健康福祉課へ派遣している職員を中心に、各集落の民生児童委員、福祉委員など福祉関係者と連携して取り組みました。各集落の要支援者に対する個別避難計画について、策定に向けての協議も進めています。



収入



A	介護保険事業収入	160,946,200
B	受託金収入	47,094,385
C	補助金収入	33,169,703
D	障害福祉事業収入	6,115,220
E	会費収入	5,015,000
F	寄付金収入	3,736,465
G	事業収入	2,230,750
H	その他	377,195
I	生活困難者総合相談生活支援事業収入	80,537
合計		258,765,455

基本目標 4 地域ぐるみ福祉教育の推進

個性を認め合い、多様性を受け入れる力を養うこと、ふだんの暮らしの中の生活課題から福祉課題に気づき、どうしたらいいのかをまわりの人と共に考え、実際に行動するための力を育むことが福祉教育であるということを軸に据えて取り組みました。子どもだけではなく、保護者や地域の大人と一緒に学び、「学校」「家庭」「地域」の3方向から、さらに福祉教育を推進していく取り組みが必要とされています。



基本目標 5 社会資源の開発

はあとびあを活用したあらたな取り組み「ボランティア喫茶はあとステーション」を開始し、多くの方々にお越しいただきました。ボランティアの活動の場でもあり、人と人が触れ合う場が町民から切に望まれていたことを感じました。また、車を所有していない世帯を対象とした買い物等支援「おでかけワゴン」を開始しました。引き続き、新たな資源開発にむけて住民のニーズを把握できるよう努めてまいります。



本紙面における事業報告は抜粋での掲載となっておりますので事業報告全体の情報をご希望の方は、美浜町社協のホームページをご覧ください。事務局までご連絡(32-1164)ください。



事業報告・決算

美浜・五木ひろし ふるさとマラソンチャリティバザー



5月8日(日)丹生特設会場にて、美浜・五木ひろしふるさとマラソンチャリティバザーを実施しました。さわやかな晴天の中、美浜町社協は過去の大会記念品や、飲み物を販売しました。たくさんのランナーの皆様にお立ち寄りいただきまして、ありがとうございました！バザーの売上金は**23,320円**となり、こちらは美浜町社協の地域福祉事業に大切に使用させていただきます。

美浜町社協 賛助会費のお願い

今年度も福祉委員さんにご協力いただき、賛助会費の集金のお願いに回らせていただきます。地域の福祉活動の財源として会費を使わせていただきます(詳細は下記)。みなさまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

集落が持つ「力」を高めるしくみづくり

- 集落内のネットワークづくり支援
集落の福祉委員会設置推進や、活動を支援

みんなで「支えあえる」しくみづくり

- 弁護士・司法書士相談所の開設
- 福祉車両・介護機器等の貸出
- 料理教室の開催

みんなの「しらせ」がつながるしくみづくり

- 広報誌・ホームページ等でのお知らせ

みんなが「つながる」しくみづくり

- 生きがいつくり支援
交流会や趣味活動へのサポートを通して生きがいある暮らしづくりのお手伝い
- 当事者の場づくり支援
在宅介護者・家族を亡くした方など、思いの共有ができるつながりづくりをお手伝い
- みんなの食堂へのサポート

みんなが「活躍できる」場面づくり

- 福祉のまちづくり集会
(集落自慢フェスティバル) の開催
集落が持つ力に気づき地域への愛着をはぐくむ機会とします

個人：一口 3,000円以上 企業団体：一口 5,000円

※個人の寄付については、寄付金控除が受けられます。



美浜町共同募金委員会より 令和3年度 共同募金活動のご報告

たくさんのご協力、ありがとうございました。

赤い羽根共同募金

(運動期間10月1日～12月31日)

1,318,037円

(令和4年度の事業に助成されます)

町内各団体が実施する事業に助成

※本記事には団体名のみを記載しています。事業内容は「はねっと(下記にリンク)」をご覧ください。

(順不同)

- 佐田伝統文化保存会
- リボンクラブ
- 早瀬を元気にしよう会

美浜町社協が実施する福祉事業に助成

- ボランティア喫茶「はあとステーション」
- 福祉のまちづくり集会
- つどい場づくり
- 在宅介護者交流事業
- 小地域ネットワーク事業 など

歳末たすけあい募金

(運動期間 12月1日～12月31日)

1,307,109円

(令和3年度の年末年始に行われる事業に助成されました)

福祉ニーズを持つ子どもへの支援事業

民生児童委員さんのご協力を得て、町内の要保護・準要保護の児童さんに図書カードをお渡しさせていただきました。

集落内での活動への助成

各集落の募金実績に応じて、福祉活動へ助成しました。

募金の使い道詳細はこちら

赤い羽根データベース「はねっと」

<http://bit.ly/3cvyiFW>

赤い羽根 共同募金のお願い

10月1日から、全国一斉で赤い羽根共同募金運動が始まります。皆様のあたたかいご協力をお願いいたします。使い道は下記をご覧ください(令和5年度の事業に使われます)。

美浜町社協が実施する福祉活動への助成

- 地域活性化、福祉事業への助成
- 生活困難者支援
- 福祉学習への支援 など

町内各団体が実施する福祉事業への助成

- 佐田伝統文化保存会 ● リボンクラブ
- 早瀬を元気にしよう ● はじめの一步
- 若狭・認知症リンクワーカー樹の輪
- にここサークル

※本紙面では団体名のみ記載しています。くわしくは9月に配布される募金用封筒をご覧ください。

【募金目標額】 1,400,000円 【募金目安額】 500円/世帯

※あくまでも目安額です。ご無理のない範囲でご協力ください。